

科目区分・分類	専門展開・研究	対象専攻・学年	両専攻・1,2年	科目コード	99901999
科目名	特別研究 Special Study				
担当教員	専攻科科目担当教員				
単位数(時間数)	必修 1年 前期 3単位 2年 通年 8単位 (495時間)	学習・教育目標との対応		(D-2)(F-1)(G-1)	
授業の目的と概要	生産環境システムおよび電気情報システムに関する総合的な研究開発能力を育成するため、1,2年を通じて、指導教員のもとで、文献調査、創造的実験、理論分析、討論などを実践する。				
備考	機械、電気電子、情報または土木工学全般にわたる知識を基礎として、研究遂行能力、プレゼンテーション能力および論文作成などを向上させることを意識しながら取り組む必要がある。				
授業項目		時間	内容		
<ul style="list-style-type: none"> 学生は機械、電気電子、情報または土木工学に関する多様な分野の中から興味のあるテーマを選び、2年間にわたりその分野を専門とする教員から個人指導を受ける。 2年次の1月末から2月初めに開催される特別研究発表会で成果発表を行う。発表形式は学会の講演形式に準じたものとする。 別に定める期限までに、特別研究論文および概要集を提出し、主査(指導教員)、副査の教員2名の査読を受ける。特別研究論文および概要集は、査読者の指導により必要な修正を行った後、再提出する。 特別研究テーマおよび指導教員の決定、具体的な実施内容等については、1学年の前期開始当初に決定する。 		495	<ul style="list-style-type: none"> 取り組むテーマの内容、特にその背景や具体的な問題点を把握することができる。 具体的に実施すべき実験や考察、それに伴う学習や調査について理解し、計画的に遂行できる。 研究を進める上で必要な実験装置やデータ処理法について理解し、適切に操作、使用できる。 既に学んでいる基礎的な数学や物理の知識を応用して、データ等を理論的な裏づけの下に整理できる。 実施した研究内容を特別研究論文および概要集にまとめ、一定の時間内で発表、説明ができる。 		
学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	これまでに学習した内容を特別研究テーマに応用できることで(D-2)の達成とする。発表資料の作成および発表(プレゼンテーション)を行うことで(F-1)の達成とする。また、特別研究を継続的に行い、まとめることができることで(G-1)の達成とする。				
成績評価	特別研究実施に対する評価(60%)で(D-2)を評価し、プレゼンテーションに対する評価(20%)で(F-1)を評価し、論文(特別研究論文および概要集)に対する評価(20%)で(G-1)を評価する。ただし、各評価については、専攻科で定めた評価基準に従う。それぞれの評価において6割以上を獲得した者をこの科目の合格者とする。				
教材	教科書：特別研究担当教員による。 参考書：特別研究担当教員による。				
オフィスアワー	水曜日 16:00~17:00, 特別研究担当教員室。				